

## 留学生をはじめのスキー体験 交流人口の拡大を目指した取り組み



2月7日、中国など10カ国の留学生43人がスキー体験を行うため町民スキー場を訪れました。これは、交流人口の拡大を図ろうと上ノ国町観光振興公社が旅行代理店と連携して北海道国際交流センターが主催するツアーを誘致したものです。

この日訪れた留学生のほとんどがスキー初体験だったそう。上ノ国町スキー連盟の講師から丁寧な指導を受けると、めきめきと上達していました。また、昼食には地元食材を使ったバーベキューなどが振舞われ、終了後は、湯ノ岱温泉を満喫していました。

参加者の一人は、「スキーは難しかったけど楽しかった。昼食のエビや豚肉がおいしかった」と笑顔で話していました。

2月23日にも函館市内発着で同様のツアーが行われ、今後この取り組みが定着し、国内外からの交流人口の拡大を期待しています。

## 「ひやま」の魅力を発信 東京で食・観光フェア開催

2月9日と10日の2日間、「ひやま」の観光や特産品をPRする「食・観光フェア」を東京都大田区で開催し、檜山管内7町が連携して物産販売などを行いました。

昨年引き続き会場となったJR蒲田駅前の東急プラザでは、駅前広場と7階フロアで特産品などを販売し、本町からは「アワビの春巻き」や「焼きツブ」を調理販売したほか、「煮ダコ」「根ホッケ」など、7町全体で海の幸と山の幸を豊富に取りそろえたラインアップを販売しました。

東京都内は史上最強寒波到来により客足に影響がありました。が、「去年も来たよ」と声をかけられるなど多くのリピーターの来店が目立ちました。

徐々に知名度がアップしていることについて、関係者にお話を伺うと「ひやまを知ってるよ」と言ってもらえらるとうれしい」と話し、これまでの取り組みの成果を感じるとともに、今後も檜山の知名度アップに意欲を燃やしていました。



## 上ノ国中、惜しくも準優勝 道南選抜バレーボール大会



2月11日、第44回道南選抜中学生バレーボール上ノ国大会（上ノ国町バレーボール連盟主催）が、スポーツセンターで行われ、上ノ国中学校など渡島松山管内の6校が参加しました。

この大会は、冬季間の競技力向上を図ろうと毎年上ノ国町を会場に開催しているもので、今回は、女子の部のみの実施となりました。

予選リーグを2位で通過した上ノ国中は準決勝で、昨年11月の道南中学校新人戦を制した乙部中と対戦。選手は父母などの声援を受け奮闘し、見事金星をあげました。

決勝戦では木古内中と対戦し、勝負どころでのミスが響き、惜しくも準優勝となりましたが、夏の中体連に向けよい経験になったようで、今後の活躍が期待されます。

## 「まぐわい」で特殊詐欺対策を学ぶ 北村地区のふれあいサロン

2月9日、北村地区のふれあいサロンが北村コミュニティセンターで13人が参加して行われました。

北村地区では地区に住む人全員を対象に平成27年春からふれあいサロンを開催しており、今回は昼食を挟みながら江差警察署上ノ国駐在所が提供した「特殊サギ撃退ゲーム」を実施。各マスに特殊詐欺の手法や対処方法などがクイズ形式で掲載された「まぐわい」で、このうち「特殊詐欺の被害者が多い居住形態は」との問いでは、「子どもや孫との同居」が正解だったことに参加者は一様に驚きの表情を浮かべていたほか、周りから被害を出さないための方法を参加者全員で話し合っていました。

参加者の一人は、「ゲームは面白かったし、とても勉強になった」と話し、楽しみながら特殊詐欺の被害に合わないための抵抗力を高めていたようです。

